

小学校の部 優秀賞

四国防災八十八話 第51話 救ったのは人のつながり

率先ひなん者として

家串小学校 5年 ^{すえひろ}末弘 ^{だいや}大也

平成十三年の高知西南部豪雨は、ひなん命令が出されるほどのすごい豪雨でした。民家は一階部分まで水ぼつし、車は何台も浮かんでいるような状態でした。そんな中、各戸にひなんするように大きな声でさけんでいました。同じ状況になったら、ぼくにはこんなことはできないだろうと思いました。

ぼくたちは、地いきでのひなん訓練で「率先ひなん者になって。」と、いつも言われています。地いきの人たちよりも、ぼくたち小学生の方がひなん訓練をしていると思います。だから、ぼくたちが先に動いて、声をかけて助け合いをしたいです。この高地西南部豪雨は、ぎせい者ゼロで、行方不明者も出なかったそうです。ぼくたちの地いきも、南海トラフ大地しんが起きたら、津波が来ます。災害があった時には、率先ひなん者として動き、一人のぎせい者も出たくないです。